

指標 3, 4, 5



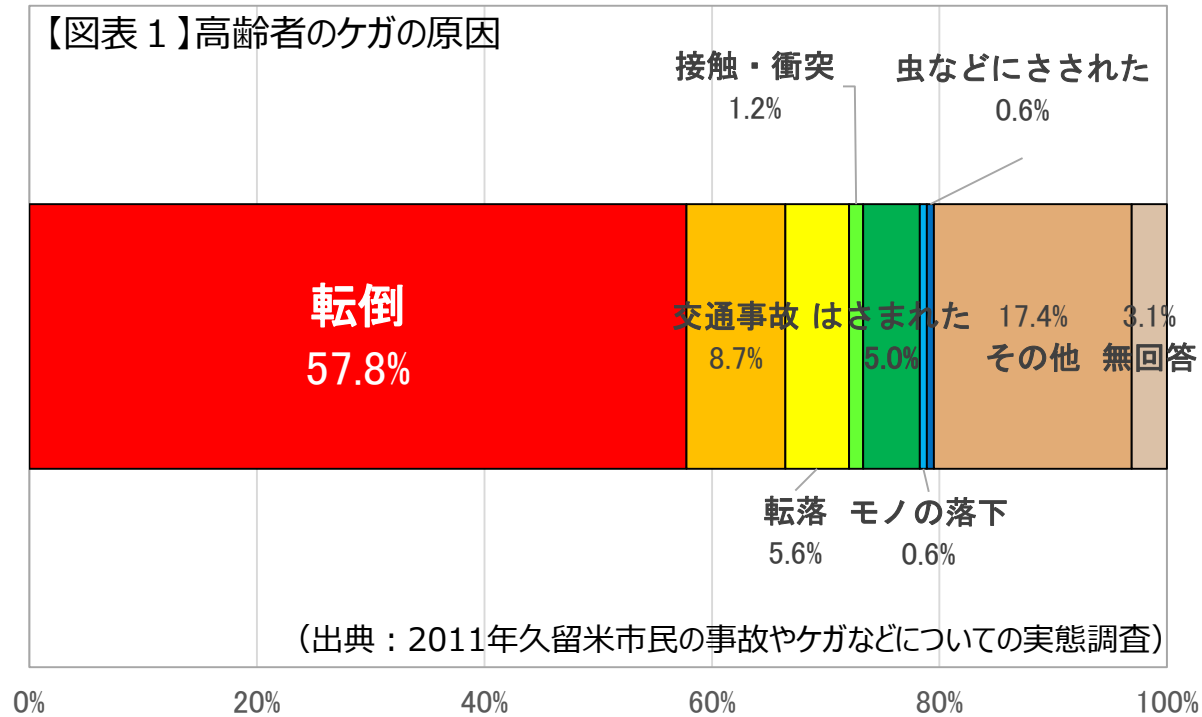
久留米市セーフコミュニティ 高齢者の安全対策委員会

発表日 2023年7月31日
発表者 高齢者の安全対策委員会委員長 濱本 孝弘
所属 公益社団法人 福岡県作業療法協会

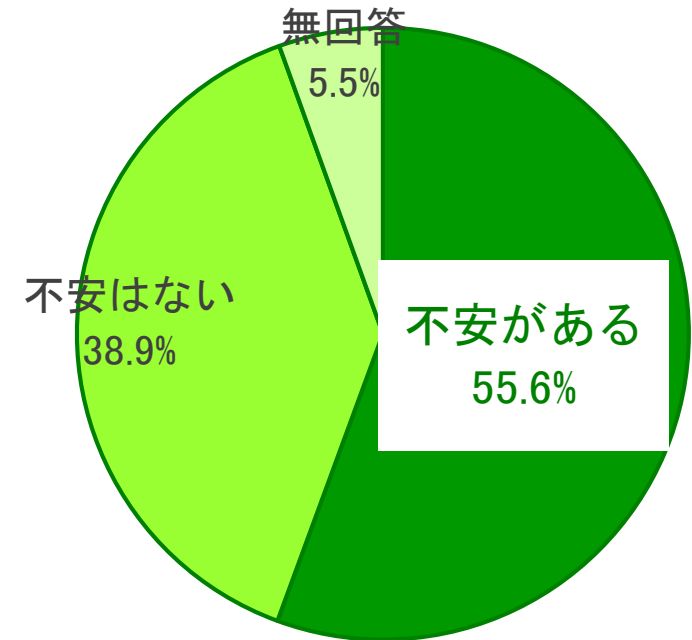
1 高齢者の安全対策委員会の設置の背景

《2011年度取組み開始時》

【図表1】高齢者のケガの原因



【図表2】転倒に対して不安のある高齢者の割合
(出典：2011年久留米市民の事故やケガなどについての実態調査)



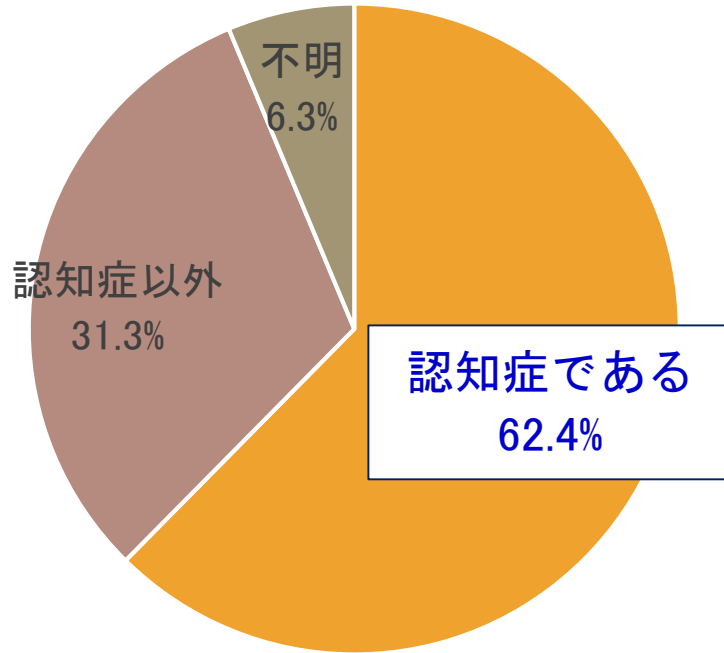
高齢者のけがの原因の半数以上は**転倒**

半数以上の高齢者が**転倒**に対し**不安**

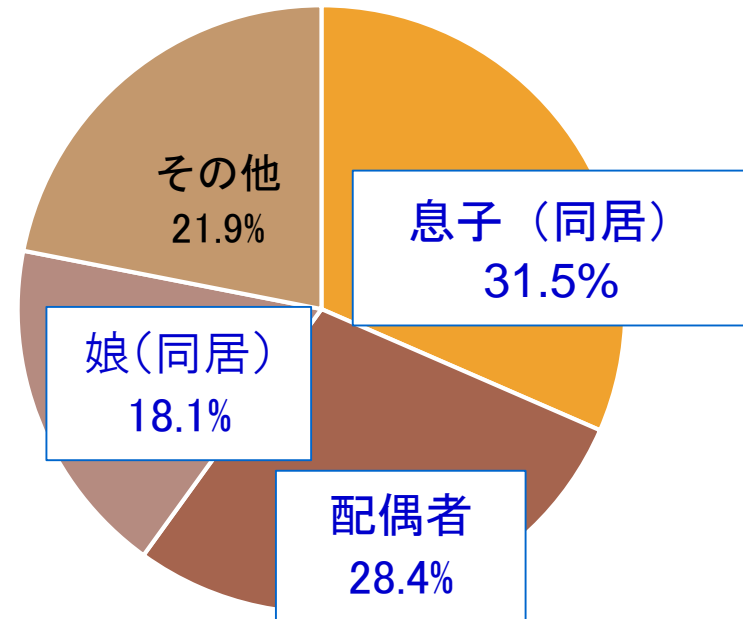
1 高齢者の安全対策委員会の設置の背景

《2011年度取組み開始時》

【図表3】被虐待者における認知症の有無
(出典：2009～2012年長寿支援課統計資料)



【図表4】虐待者の構成
(出典：2009～2012年長寿支援課統計資料)



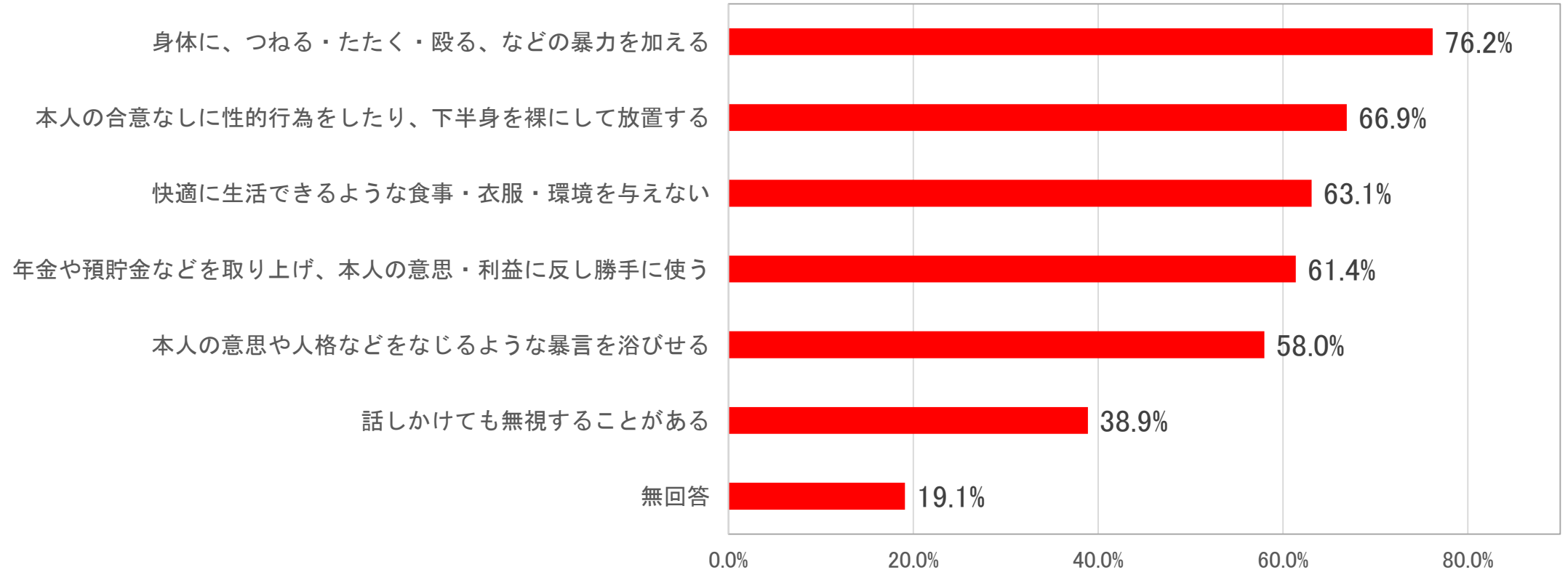
虐待認定事例の約6割が認知症高齢者

虐待の多くが同居の親族(介護者)

1 高齢者の安全対策委員会の設置の背景

《2011年度取組み開始時》

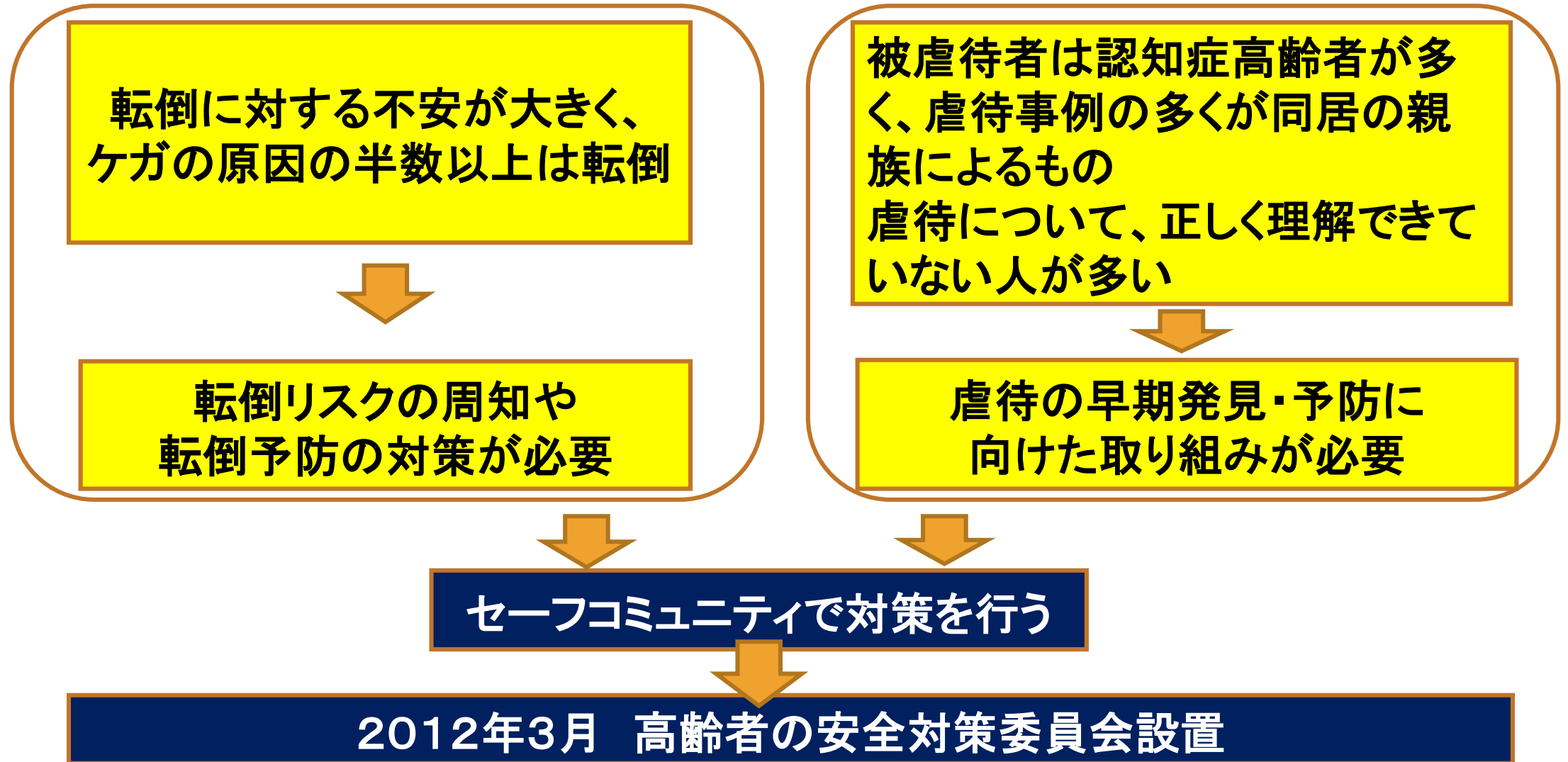
【図表5】虐待に該当すると思う行為（出典：2010年久留米市高齢者実態調査）



虐待を正しく理解できていない人が多い

1 高齢者の安全対策委員会の設置の背景

《2011年度取組み開始時》



2 高齢者の安全対策委員会の構成メンバー（2023年現在）

区分	所属		
住民組織等	1	久留米市民生委員児童委員協議会	
	2	久留米市老人クラブ連合会	
	3	(社福)久留米市社会福祉協議会	
	4	(公社)福岡県作業療法協会	
	5	(特活)久留米介護福祉サービス事業者協議会	
	6	(一社)くるめ地域支援センター	
	7	久留米市校区まちづくり連絡協議会	★加入
	8	(特非)にここ会	★加入
関係機関	9	久留米警察署(生活安全課)	
	10	久留米広域消防本部(救急防災課)	★加入
行政機関	11	久留米市健康福祉部地域福祉課	
	12	久留米市健康福祉部介護保険課	
	13	久留米市健康福祉部保健所健康推進課	
	14	久留米市健康福祉部長寿支援課	

3-1 データに基づく課題（転倒予防・溺死溺水）

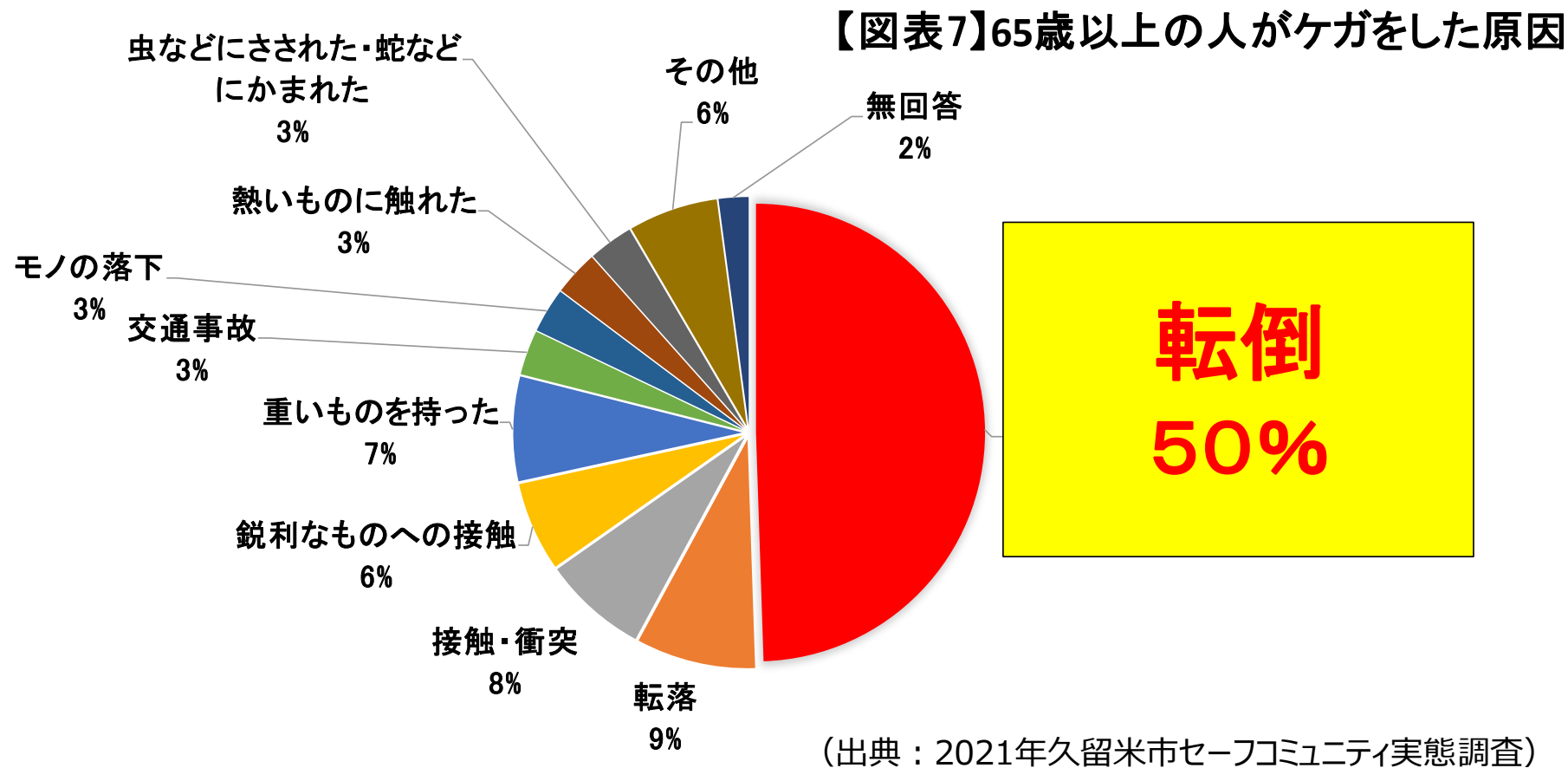
【図表6】年齢層別 不慮の事故等による死亡 ※（ ）内は人数

（出典：人口動態統計、2016～2020の5年間の累計）

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
60～69歳	自殺	溺死・溺水(21)	その他	窒息	交通事故
70～79歳	溺死・溺水(52)	自殺	窒息	その他	転倒・転落(13)
80～89歳	溺死・溺水(83)	その他	転倒・転落(33)	窒息	自殺
90歳～	転倒・転落(45)	溺死・溺水(28)	窒息	その他	自殺

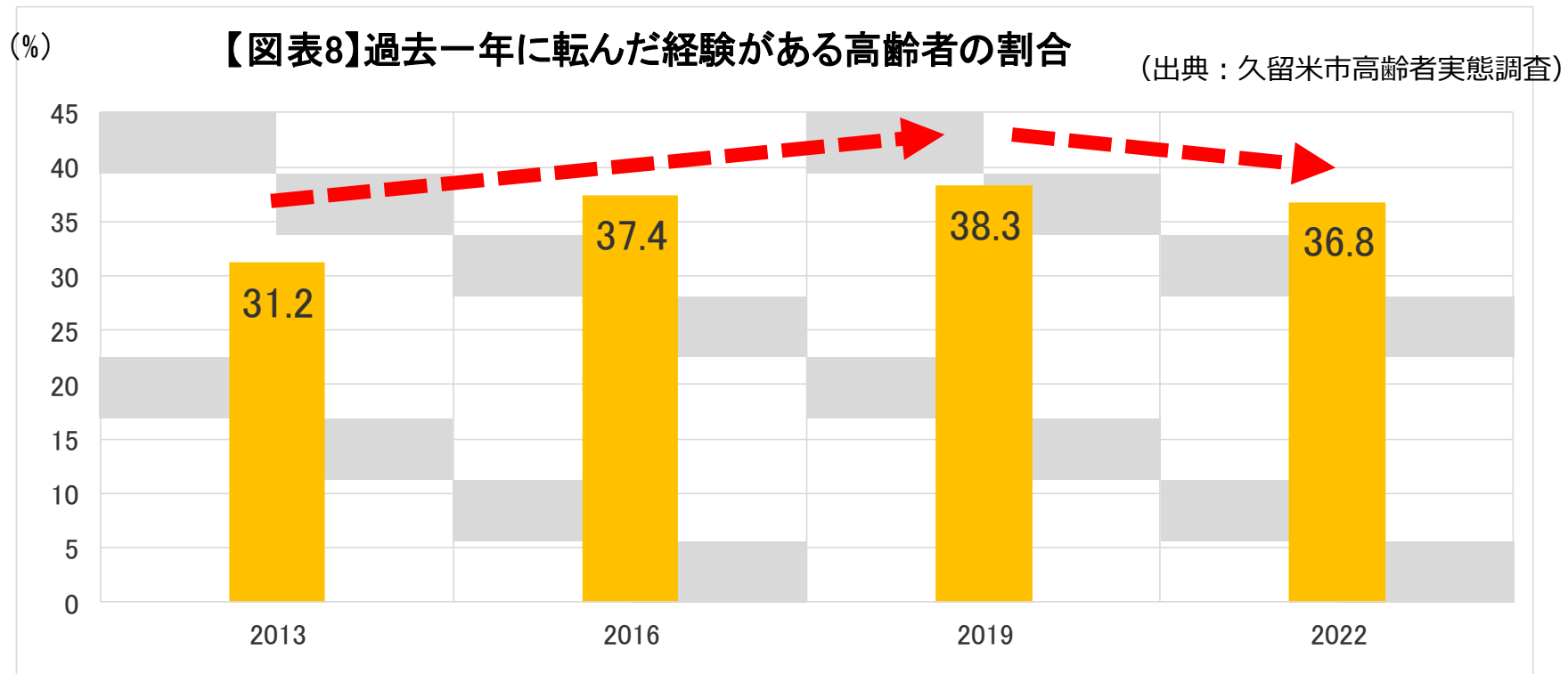
高齢者は、転倒・転落、溺死・溺水による死亡が多い。

3-2 データに基づく課題（転倒予防）



高齢者がケガをした原因の5割は転倒

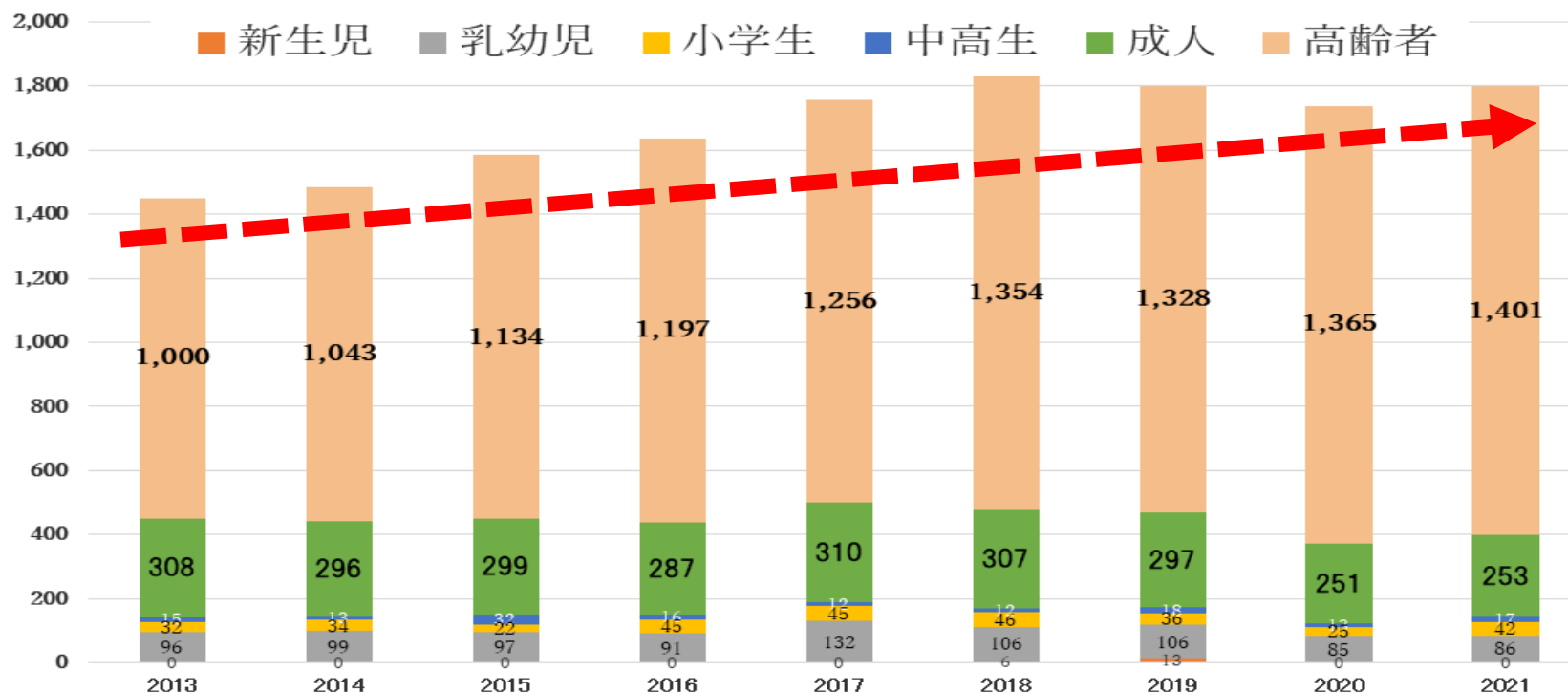
3-3 データに基づく課題（転倒予防）



過去一年で高齢者の約4割の方が転倒している

3-4 データに基づく課題（転倒予防）

【図表9】転倒による救急搬送数（年齢別内訳）



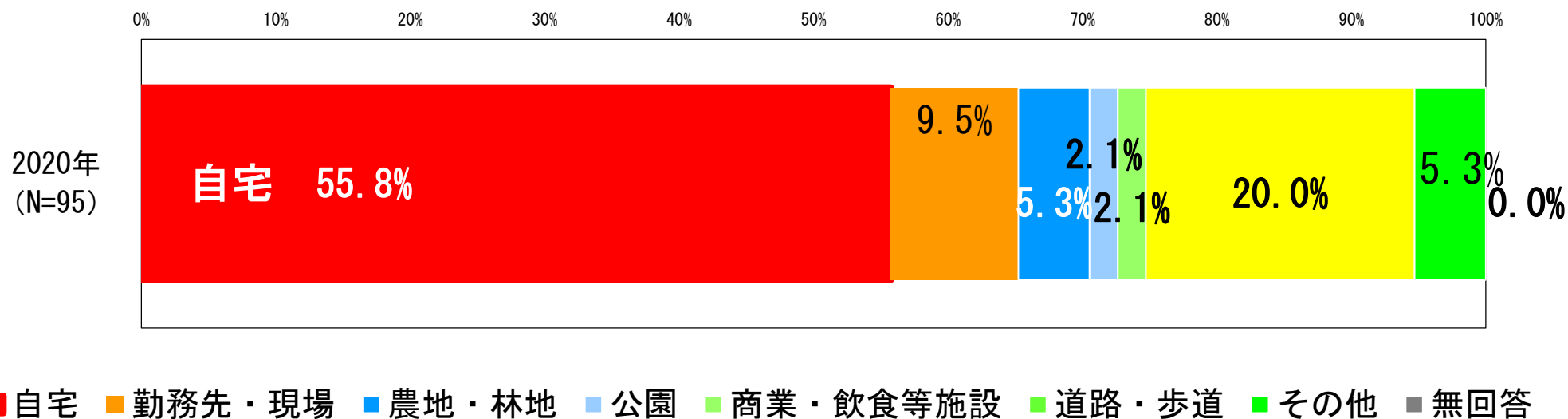
※成人（18～64歳）、高齢者（65歳以上）

（出典：久留米広域消防本部救急搬送データ）

高齢者の転倒による救急搬送は増加傾向にある。

3-5 データに基づく課題（転倒予防）

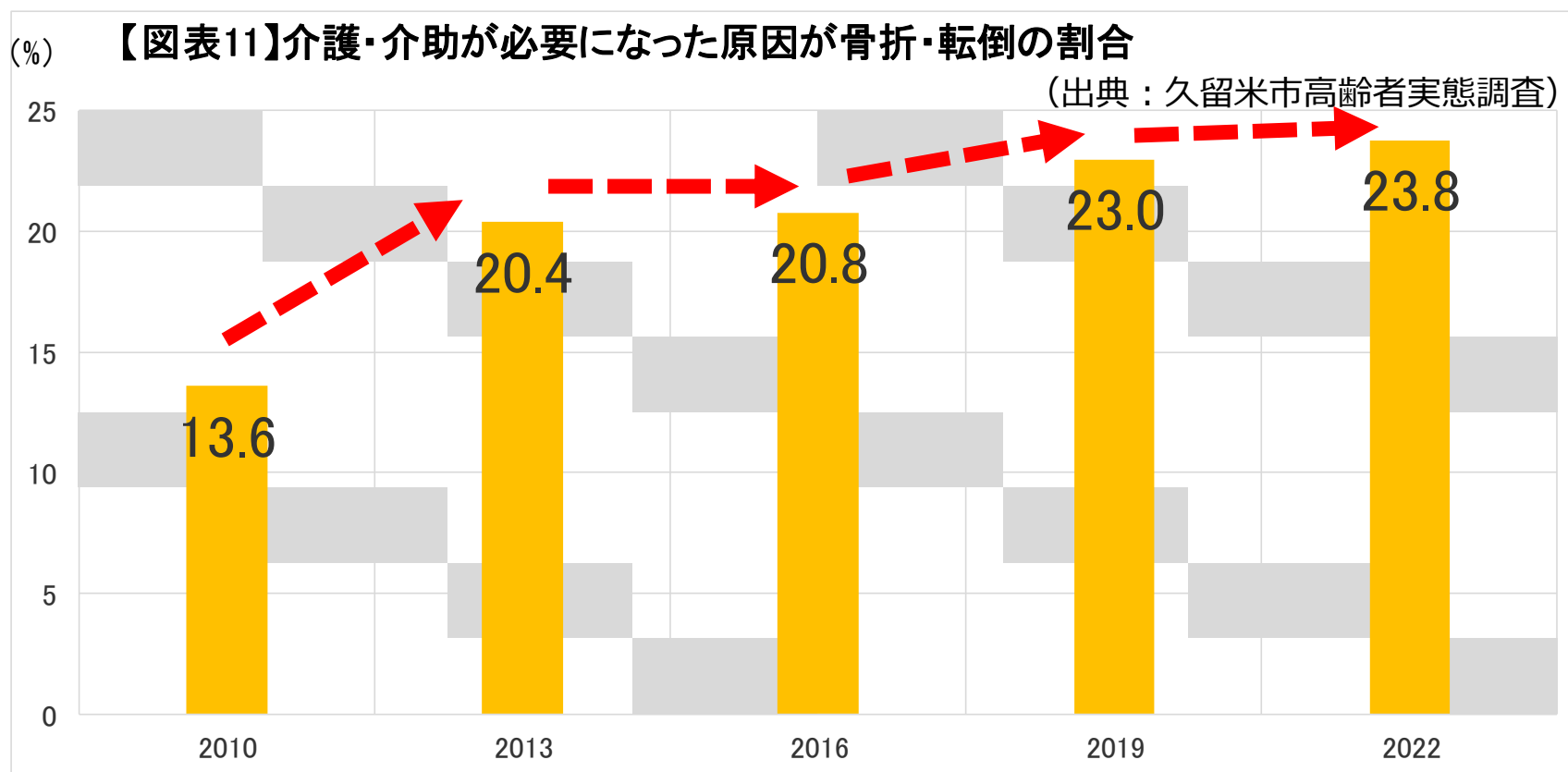
【図表10】 高齢者が転倒した場所



出典：久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査

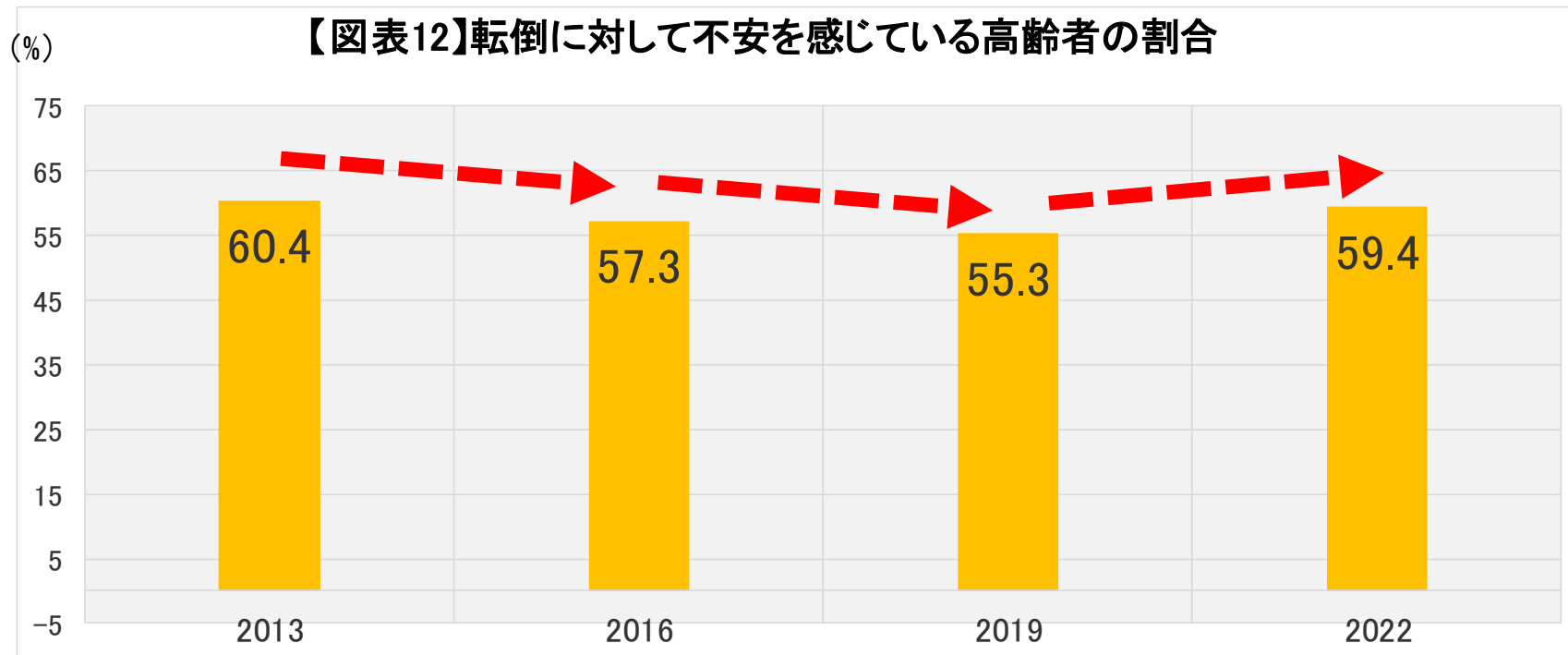
高齢者の転倒場所は半数以上が自宅である。

3-6 データに基づく課題（転倒予防）



介護・介助が必要になった原因として、
骨折・転倒の割合が増加している。

3-7 データに基づく課題（転倒予防）



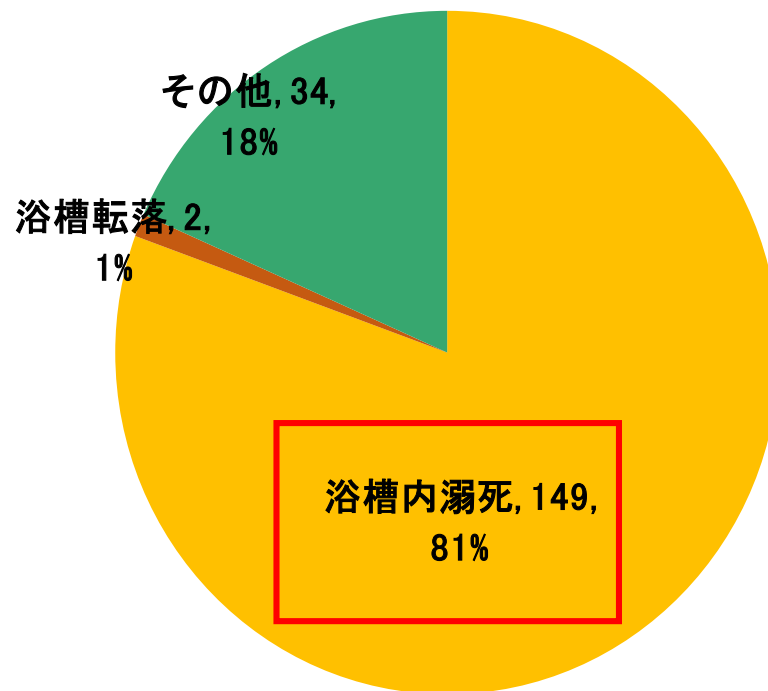
(出典：久留米市高齢者実態調査)

半数以上の高齢者が転倒に不安を感じている

3-8 データに基づく課題（溺死溺水）



【図表13】溺死・溺水した場所



出典：人口動態統計 2012年(H24年)～2016年(H28年)

溺死・溺水の8割は、家庭内の浴槽で発生。

3-9 課題の整理（高齢者の転倒予防・溺死溺水について）

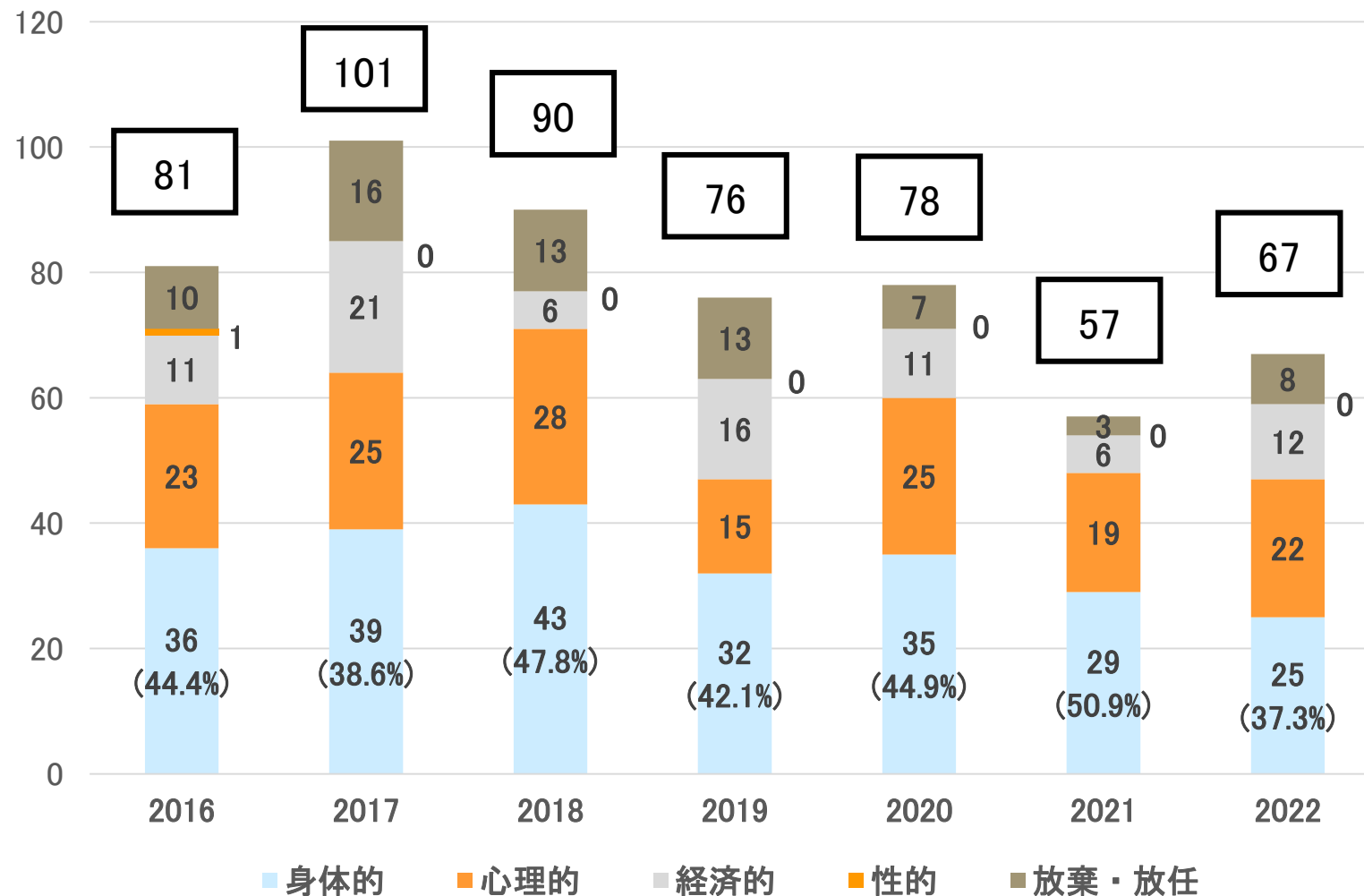
- 転倒・転落、溺死・溺水による死亡が多い …… 高齢者は転倒・転落、溺死・溺水による死亡が多い 【図表6】
- 高齢者の転倒は介護・介助が必要になるリスク高… 高齢者のケガの原因の5割は転倒 【図表7】
介護・介助が必要になった原因として、骨折・転倒の割合が増加 【図表11】
- 高齢者の転倒の増加 …… 過去一年で約4割の方が転倒している 【図表8】
高齢者の転倒による救急搬送は増加傾向 【図表9】
- 転倒は自宅で多く発生 …… 高齢者の転倒場所の半数以上が自宅 【図表10】
- 転倒に対する不安の大きさ …… 半数以上の高齢者が転倒に不安を感じている 【図表12】
- 溺死・溺水は家庭内の浴槽で多く発生 …… 溺死・溺水の8割は、家庭内の浴槽で発生 【図表13】

転倒予防・溺死溺水対策に
取り組む必要がある

4-1 データに基づく課題（虐待防止）

【図表14】久留米市の高齢者虐待件数の推移

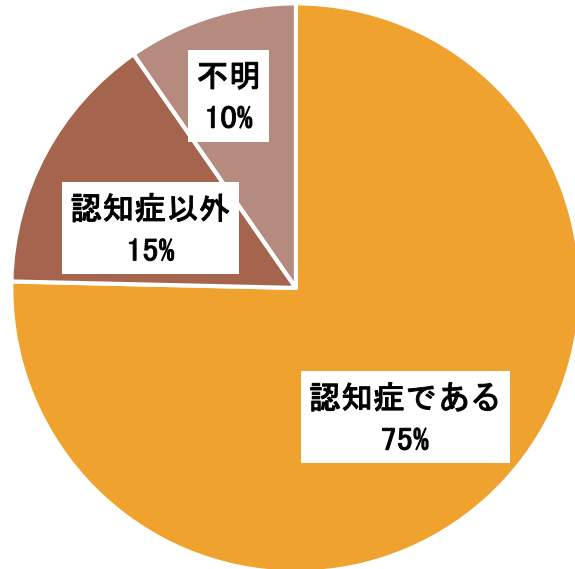
（出典：2016～2022年長寿支援課統計）



高齢者の虐待の約4割は、「身体的虐待」

4-2 データに基づく課題（虐待防止）

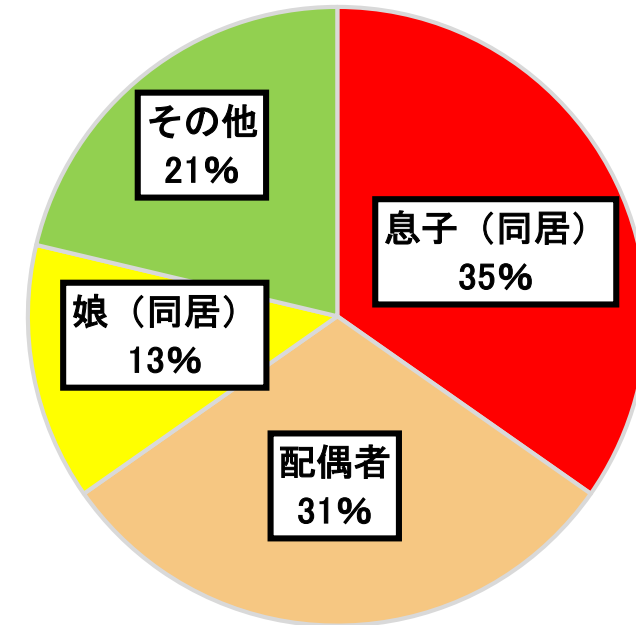
【図表15】被虐待者における認知症の有無



(出典：2018～2021年長寿支援課統計)

被虐待者の7割以上に認知症の症状がある

【図表16】虐待者の構成

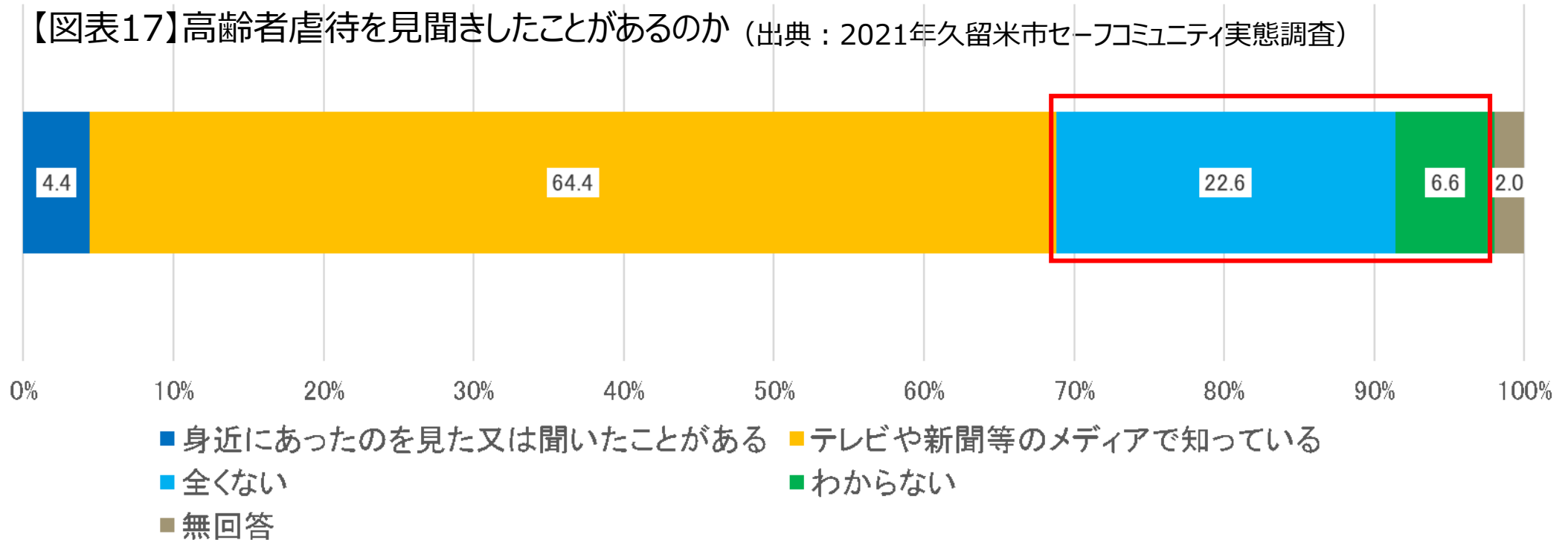


(出典：2018～2021年長寿支援課統計)

虐待事例の約8割が同居親族によるもの

4-3 データに基づく課題（虐待防止）

【図表17】高齢者虐待を見聞きしたことがあるのか（出典：2021年久留米市セーフコミュニティ実態調査）

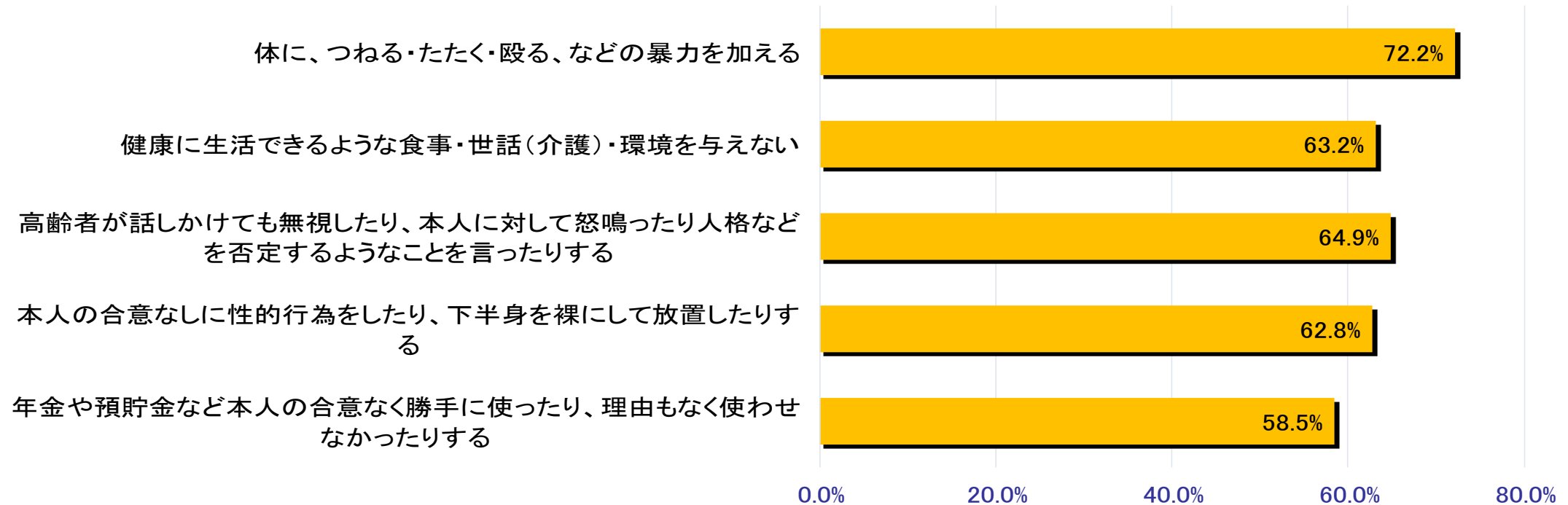


約3割の人が高齢者虐待について見聞きしたことが「全くない」「わからない」

4-4 データに基づく課題（虐待防止）

【図表18】虐待に該当すると思う行為

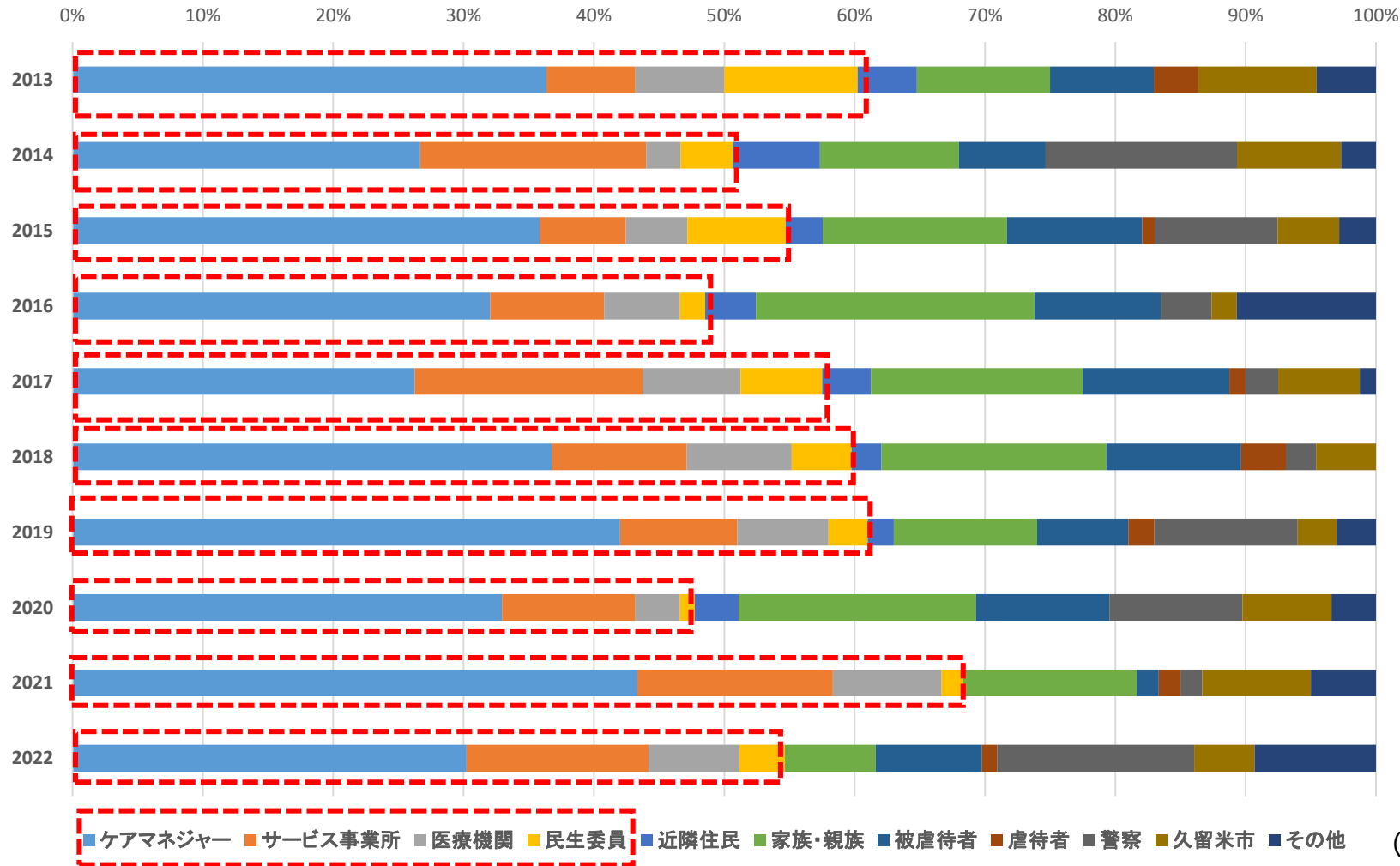
（出典：2022年久留米市高齢者実態調査）



虐待について正しく理解できていない人が多い

4-5 データに基づく課題（虐待防止）

【図表19】高齢者虐待に関する経路別相談・通報件数の割合



ケアマネジャーやサービス事業者、医療機関、民生委員からの通報の割合は約6割である。

(出典：長寿支援課統計)

4-6 課題の整理（高齢者の虐待防止について）

- **高齢者虐待と認知症との関連** …… 被虐待者の約7割以上が認知症 【図表15】
- **同居親族による虐待事例の多さ** …… 虐待事例の約8割が同居親族によるもの 【図表16】
- **虐待に対する意識の低さ** …… 約3割の人が高齢者虐待について見聞きしたことが「全くない」「わからない」 【図表17】
虐待を正しく理解できていない人が多い 【図表18】
- **本人や家族からの相談・通報の少なさ** …… ケアマネジャーやサービス事業所、医療機関、民生委員からの通報の割合は約6割 【図表19】



虐待防止の啓発および虐待の早期発見に取り組む必要がある

5-1 課題解決のための目標と具体的施策

課題

目標

具体的施策

- 転倒・転落、溺死・溺水による死亡が多い
- 高齢者の転倒の増加
- 転倒は自宅で多く発生
- 溺死・溺水は家庭内の浴槽で多く発生

転倒予防・溺死溺水対策
に取り組む人の増加

①転倒予防や溺死・溺水
に関する普及・啓発

- 高齢者の転倒は介護・介助が必要になる
リスク大
- 転倒に対する不安の大きさ

転倒予防のための取り組
みの活性化

②転倒予防のための健康づく
り、体力維持、介護予防

5-2 課題解決のための目標と具体的施策

課題

目標

具体的施策

- 高齢者虐待と認知症との関連
- 同居親族による虐待事例の多さ
- 虐待に対する意識の低さ
- 本人や家族からの相談・通報の少なさ

虐待や認知症について正しく理解する人の増加

③虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催

介護サービス提供事業所における虐待に対する意識向上

④介護サービス提供事業所向けの虐待防止研修

関係機関等の連携及び地域全体での見守りによる、虐待の未然防止・早期発見・早期対応

⑤地域で高齢者を見守るネットワークの構築

6-1 レベル別の対策

【図表20】

具体的施策	対 策			
	方向性	国県レベル	市レベル	地域レベル
転倒予防や溺死・溺水に関する普及・啓発	教育・啓発		窓口・イベント等での周知 【対策委員会】 転倒予防パンフレットの作成・配布	関係団体による研修等
	規制			
	環境整備			
転倒予防のための健康づくり、体力維持、介護予防	教育・啓発		介護予防事業、ラジオ体操の推進	ウォーキング大会、介護予防の取り組み
	規制		【対策委員会】 介護予防プログラムの実践	
	環境整備	介護予防事業の見直し 介護保険法 福岡県高齢者等在宅生活支援事業	介護予防の講師派遣 インターネットを活用した介護予防 介護保険住宅改修の補助事業	

6-2 レベル別の対策

【図表21】

具体的施策	対 策			
	方向性	国県レベル	市レベル	地域レベル
虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催	教育・啓発	認知症施策推進大綱	認知症サポーター養成、家族介護教室 【対策委員会】 キャラバン・メイトとしてサポーターを養成、家族介護教室の講座を実施	認知症サポーター養成
	規制			
	環境整備	高齢者虐待防止法	認知症予防地域講演会	
介護サービス提供事業所向けの虐待防止研修	教育・啓発		介護サービス提供事業者向け研修 【対策委員会】虐待防止研修の実施	地域や関係機関からの通報
	規制			
	環境整備	高齢者虐待防止法		
地域で高齢者を見守るネットワークの構築	教育・啓発		高齢者の見守り、地域ケア会議 【対策委員会】虐待通報や相談への対応、地域ケア会議への出席	高齢者の見守り、地域ケア会議
	規制			
	環境整備		ネットワーク構築	

7-1 具体的施策の紹介・成果

【転倒予防や溺死・溺水に関する普及・啓発】

転倒予防パンフレットの改定

転ばない住環境づくり
転倒の原因は、自宅でも意外と身近なところにあります。
日常生活では、床の状況や障害物などが転倒につながるケースが少なくありません。これらの要因を改善することが転倒予防に役立ちます。
皆さんの自宅の中をチェックしてみてください！

浴室
久留米市のうち平成26年～平成28年の3年間で自宅のお風呂で亡くなった方… **84人**
そのうち… **9割が高齢者**
どうして多のお風呂が危険なの？
【血圧の急激な変動】と関係しています。
久留米市の高齢者の浴槽での溺死事故(凶死)は55～64歳人口が最も多い。
浴槽はすべりやすく、転倒事故が起こりやすいところです。
手すりやすべり止めを設置しましょう。

溺死予防の合言葉
お 浴槽の温度は41度(以下)
ふ を滑は浴室滑めて
ろ 60(歳)過ぎたら要注意
は 入る前には一声かけて
た 立ち上がる時はゆっくりと
の のぼせる時に上がり直しよう
し 食事の後は時間を空けて
い いい仲間(気分)が確認を

寝室
ベッドや布団から起き上がる時は、しっかり体を支えましょう。

自宅内の段差
部屋の入口や部屋と部屋の境などの段差には目立つ色のテープ等を貼るなどして、段差を認識しやすくしましょう。

電気製品のコード
室内の電気製品のコード類はまとめて整理に寄せたり、テープなどで固定しましょう。

室内のじゅうたん等
じゅうたんなどの床はしっかり固定して、つまずかないようにしましょう。
1センチ程度の段差も要注意

玄関
玄関マットはしっかり固定したり、すべり止めを下に敷きましょう。

廊下や階段
暗いところは照明を明るくしたり、手すりの設置を検討しましょう。
縁いと段差が見えにくい

床においた新聞や雑誌等
新聞やビニール袋など床にはものをおかないようにしましょう。
床にあるとすべりやすい

その他(日常生活動作)
重いものは高いところにおかないようにしましょう。

データの更新やイラストを分かりやすく改定。また、入浴時の危険(溺死・溺水)を追加し、ヒートショックの予防について記載した。

対策委員会
市:長寿支援課

7-2 具体的施策の紹介・成果

【転倒予防のための健康づくり、体力維持、介護予防】

介護保険住宅改修の給付事業



要支援・要介護認定を持つ方への保険給付事業。住宅への手すりや踏み台設置などに給付する。平成30～令和3年度で、延べ3,938件、約3億4,200万円を給付。

(市:介護保険課)

7-3 具体的施策の紹介・成果

【転倒予防のための健康づくり、体力維持、介護予防】

にこにこステップ運動（教室型・講師派遣型）



介護予防のきっかけづくりとする教室を開催。また、教室参加者を中心に結成された自主グループが、運動を継続的に行えるように、講師の派遣を実施

（市：長寿支援課）

7-4 具体的施策の紹介・成果

【転倒予防のための健康づくり、体力維持、介護予防】

介護予防体操動画の作成

※コロナ禍の取組み



「タオルDE こげんよか体操」の動画を作成し、いつでも視聴できるように市のHPへ掲載。DVD作成し、希望団体へ配布。

(市:長寿支援課)

7-5 具体的施策の紹介・成果

【転倒予防のための健康づくり、体力維持、介護予防】

介護予防事業の拡充



**ケア・トランポリン教室の拡充
や、屋外でのスロージョギング
教室の実施、自主グループ化
を支援した。**

(市：長寿支援課)

7-6 具体的施策の紹介・成果

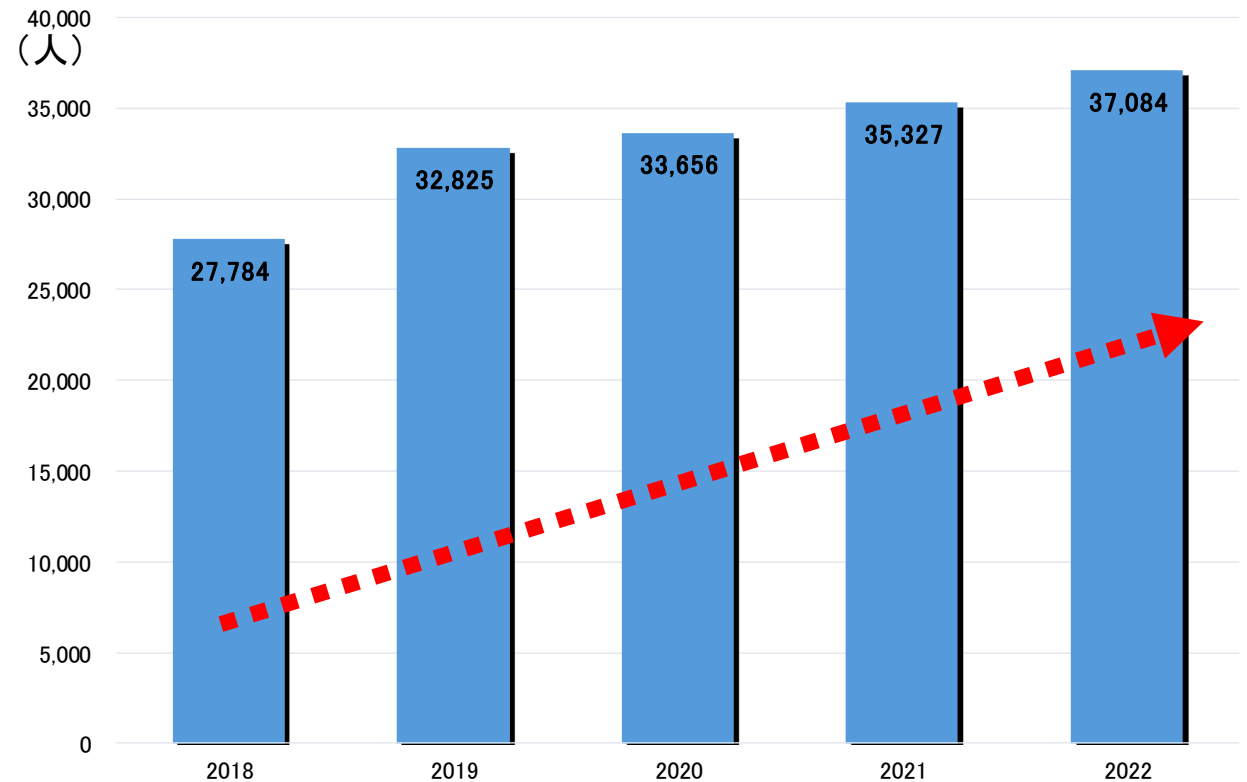
【虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催】

認知症サポーター養成講座

5年間で
9,300人参加

対策委員会
市：長寿支援課

【図表22】久留米市における認知症サポーター数(累計)



7-7 具体的施策の紹介・成果

【虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催】

家族介護教室の内容等の変更

教室の内容や、市公式LINEを活用するなど広報方法についても見直しを行い、参加者が増加した。
(市:長寿支援課)

教室参加者数
2017年度 72人
→ 2022年度 108人

プロに学ぶ！
令和3年度 久留米市家族介護支援事業

家族介護教室

●講座日程・内容・講師 【定員】各講座15名(先着順)

日時・会場	テーマ・内容	講師
1 10月9日(土) 10時~13時 えーるピアス留米 調理実習室 (諏訪野町1830-6)	高齢者に優しい食事(調理実習) ・食べやすい食材・調理の工夫 ・調理実習(炊きまて) 参加費500円	NPO法人児童ケア・ちっこ 管理栄養士
2 10月30日(土) 13時30分~15時30分 えーるピアス留米 美術室2	家族介護に伴うストレスへの対応 ・ストレスについて ・ストレスによる症状の改善法 <small>※15時45分より在宅介護者の交流会を行います(1時間程度・自由参加)</small>	株式会社セイコウカレッジ 代表 香口晴美氏
3 11月6日(土) 13時30分~16時45分 えーるピアス留米 美術室2	認知症の方とのコミュニケーション ・認知症の基礎知識 ・コミュニケーション技法の紹介 ・技法(バリデーション)に挑戦	いちようの社グループ 施設長 堀江桃子氏
4 11月20日(土) 10時~12時 久留米シティプラザ 展示室 (六ツ門町8-1)	負担が少ない介護方法 ・介助する際の身体の使い方 ・ベッドでの運送から乗降への移乗 ・福祉用具の紹介と活用法	医療法人 楠病院 理学療法士 金子貴志氏 九州ホームケアサービス株式会社 福祉用具認定士 井手純寛氏
5 12月4日(土) 10時~12時 えーるピアス留米 301・302学習室	仕事と介護の両立ポイント ・介護が必要になったときの対応 ・介護保険やその他サービスの活用 ・介護が始まる前に出来ること	株式会社セイコウカレッジ 代表 香口晴美氏
6 1月15日(土) 10時~12時 えーるピアス留米 301・302学習室	健康維持推進のための口腔ケア ・口腔ケアの方法と効果 ・口腔ケア演習	一般社団法人 久留米歯科医師会 在宅歯科医療推進室
7 1月22日(土) 10時~12時 えーるピアス留米 301・302学習室	排泄ケアのポイント ・排泄の基礎知識(排泄障害と対応) ・自立排泄について ・オムツの選び方	株式会社ジューエム 介護事業部「ユーデルwis」 部長 待島伸司氏
8 2月19日(土) 10時~12時 えーるピアス留米 301・302学習室	自宅で安心して暮らせる環境づくり ・自宅の危険な場所と対策 ・福祉用具の活用 ・相談先や制度	株式会社 TASUKIリハビリサービス 代表 桑島俊明氏

ご家族の介護でお悩みではありませんか?
・認知症になってどのように接したらいいのか悩んでいる。
・介護でいつもイライラ。ストレスを抱えている。
・介護をしながら仕事を続けられるか不安。 など…

ご家族を介護するための
知識や負担軽減の
コツなどをお伝えします!



Little Voice

7-8 具体的施策の紹介・成果

【介護サービス提供事業所向けの虐待防止研修】

介護事業所向け虐待防止研修

※コロナ禍の取組み



研修の実施方法
集合形式→オンライン

対策委員会
市：長寿支援課

研修参加者数
2019年度 271人
→ 2022年度 371人

8-1 具体的施策の取り組み成果（短期・中期・長期）

《転倒予防に関する普及・啓発》

指標	内容	2017	2018	2019	2020	2021	2022
短期	転倒予防対策の必要性を認識した人の割合 [参加者アンケート調査]	91.4%	90.9%	—	89.5%	89.6%	90.2%
中期	転倒予防対策を行う人の割合(無回答除く) [高齢者実態調査(3年毎)]	—	—	64.7%	—	—	64.5%
長期	「転倒・骨折」によって、介護・介助が必要 になった高齢者の割合 [高齢者実態調査(3年毎)]	—	—	23.0%	—	—	23.8%

8-2 具体的施策の取り組み成果（短期・中期・長期）

《転倒予防のための健康づくり、体力維持、介護予防》

指標	内容	2017	2018	2019	2020	2021	2022
短期	70歳以上で健康づくりのために運動している割合(1日30分以上、週2日以上) [市民意識調査]	56.7%	53.4%	53.8%	—	52.7%	49.3%
中期	高齢者のけがの原因のうち「転倒」の割合[SC実態調査(3年毎)]	51.9%	—	—	—	49.5%	—
長期	「転倒・骨折」によって、介護・介助が必要になった高齢者の割合 [高齢者実態調査(3年毎)]	—	—	23.0%	—	—	23.8%

8-3 具体的施策の取り組み成果（短期・中期・長期）

《高齢者虐待防止》

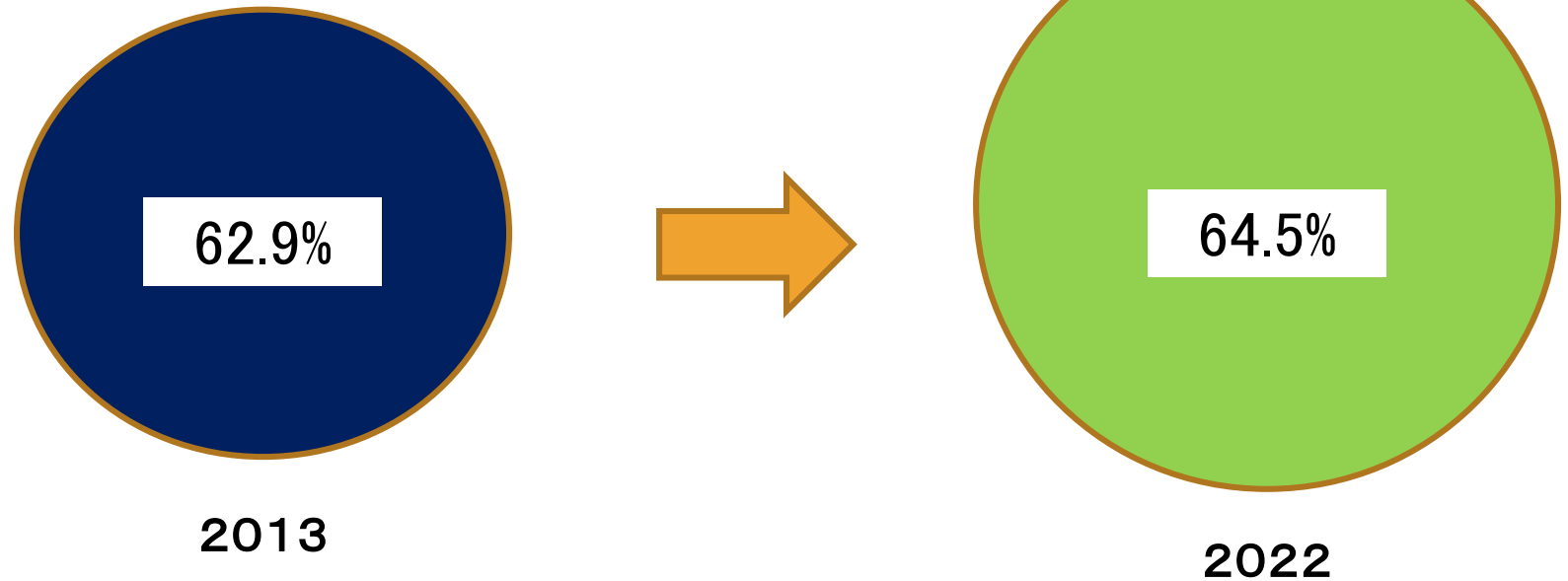
指標	内容	2017	2018	2019	2020	2021	2022
短期	虐待を正しく理解する市民の割合 [高齢者実態調査(3年毎)]	—	—	身体的73.2% 経済的58.7% 性的63.8% 介護放棄65.0% 心理的64.1%	—	—	身体的72.2% 経済的58.5% 性的62.8% 介護放棄63.2% 心理的64.9%
中期	地域や事業者からの相談や通報件数の割合 (/全通報件数中)[長寿支援課統計]	57.5%	59.8%	61.0%	47.7%	68.3%	54.7%
長期	虐待発生率 [長寿支援課統計]	0.083%	0.077%	0.072%	0.062%	0.046%	0.057%

9-1 取り組みによる全体的な効果

対策を行う人
増加

【図表23】転倒を予防するための対策を行う人の割合（無回答除く）

（出典：久留米市高齢者実態調査）

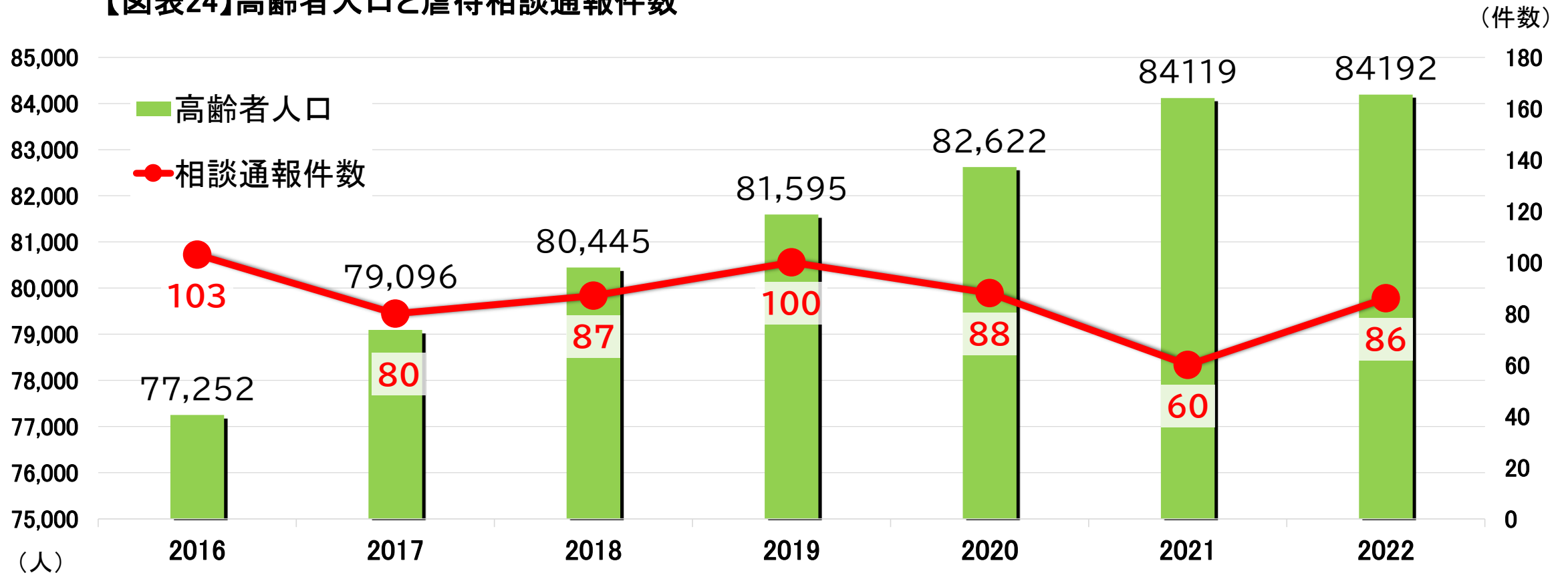


9-2 取り組みによる全体的な効果

高齢者虐待の相談・通報件数は横ばい

(出典:長寿支援課統計)

【図表24】高齢者人口と虐待相談通報件数



※高齢者人口は、各年4月1日時点

10 課題と今後の対応

【転倒予防 ・ 溺死溺水予防】

- ◆さらなる転倒予防実践への働きかけの必要性
- ◆自主的な介護予防活動の拡大
- ◆自宅の浴槽での溺死予防に関する効果的な啓発

【高齢者の虐待防止】

- ◆認知症を正しく理解する啓発
- ◆家族介護の負担軽減

ご清聴ありがとうございました。



高齢者の安全対策委員会